

『川のほとりで』

"μ-γ -γ-"

4 幻 𐤒

𐤆 𐤑

川の対岸で女が子を洗っている。
とても広い川で、ここからじゃ
その存在しか知ることができない。

<-Λ ɔlɔɔcɔ >ca μ-γ eɔe
-Λ Jeɔel l-ɔɔ ɔ-ɔc hɔɔ
>-Λ (a eɔ ɔɔ) (cΛ

僕は水面を見た。
移ろいでいく水に僕の顔が映る。
やせ細った顔、病気がちな目、
みすぼらしい格好、整えもしない髪。
昔の僕が映ってた。
「こんにちは」

-Λ cΛɔc elleɔ
ɔɔΛ -Λ cɔɔc eel e ɔɔ
eΛ ɔ-ɔc cɔcμcaɔ e el
γ--> 0cɔ/cΛɔ Vcl/ɔ-ε ɔ-cɔ/Λc- μɔ<
la eɔ -Λ (ɔ-Z
Ⓢ ɔɔɔɔɔɔɔ

水の中の僕は
大きくて不安定な腕に包まれていた。
むしろ腕の方が
僕を抱くことで安心していた。

-Λ leɔeΛ el (ɔ-ɔcΛ ɔa
(ɔ-ɔ (ɔ-ɔ/celɔ
ɔ-Λ (ɔ-ɔ ɔ-ɔ- ɔ-ɔ
>-Λ (a (ɔ-ɔcΛ -Λ

そこはとても居心地が良かったけど、
自分がどんどん腐っていくのが分かって、
ある日僕はその手を噛んだ。
噛んだら腕は離れてった。

ɔɔ- -ɔ >el-ɔ (cΛ
(ɔ-ɔ -Λ ɔ-ɔ- ɔɔɔ cɔɔcɔ -e μ-ɔ ɔeΛ
ɔɔΛ c> ɔel ɔe, -Λ ɔcɔɔ- (ɔ-ɔ (a
Vɔl (ɔ-ɔ ɔɔɔɔ- -Λ

僕は全てを失くした。
その代わりに、自分を手に入れた。
外は寒いけど、
やっと自分を認められた。

-Λ (c<ɔ- le
cɔɔ (a, -Λ (ɔ-ɔ- ɔɔɔ
ɔeɔ eɔ e<
(ɔ-ɔ -Λ ɔɔɔɔel >- ɔɔɔ

病気は消え、
みすぼらしさが人目を集めていたのに、
いまじゃ羨望のまなざしになった。

-Λ cŕ:cΛ V-I
łc cΛz- -Λ >-Λ -Λ cŕ ł-cŕ
ŕ-I c> ŕcZ, >-Λ -Λ cŕ ł--ŕ

全てを失った僕だけど、
籠から出て自分を見つけた。
本当にあるべき僕を。

-Λ eΛ ŕc<z- łe
<-ŕz- łcJ Jc łcVz- 4aŕ-
4-, -Λ <-ŕz- cΛ łcJ ŕe-

水面には輝いた眼を持つ僕が映っている。
対岸の女は僕のことが見えないだろう。
僕に彼女が見えないのと同じように。
広い川でアスカが穏やかに泳いでた。

-Λ cł:c łcJ cŕeΛ cΛJ -Λł eΛ ŕ-zc ełłeJ
<-Λ μ-ŕeΛ eŕe cΛzai -Λ
ŕ-ŕ -Λ cΛzai ł- Λ-
cΛ eŕe łcŕ łcŕJz:cJ eΛŕ ai -Jŕ-